

# 第6期経営改善計画

[2019年度～2023年度]

## 2019年度 実績状況報告書

2019年4月1日から  
2020年3月31日まで



公益財団法人 神奈川県下水道公社

# 目 次

I	経営改善計画取組み項目	2
II	2019年度の取組み実施内容	3
III	計画の進行管理（PDCA サイクルによる見直し）	8

## 第6期経営改善計画 2019年度実績状況報告

当公社では、2019年度から5年間で実施する「第6期経営改善計画（2019から2023年度）」を策定し、さらなる運営の健全化、効率化に向け経営改善計画を推進しています。

2019年度は第6期経営改善計画の初年度であり、公社の経営方針に基づき、流域下水道の維持管理に関する業務、また、下水道知識の普及・啓発活動及び下水道技術に関する調査研究などを行い、県及び市町の下水道事業に協力し計画に掲げた項目の改善に取り組みました。

2019年度の実績は、以下のとおりです。

## I 経営改善計画取組み項目

第6期経営改善計画は、2019年度から2023年度までを計画期間とし、7分類、33項目の取組み内容でスタートしました。

分類	改善項目
(1)維持管理の効率化	① 電気設備の運用方法の最適化 ② 沈砂池の自動運転の最適化 ③ 汚泥処理施設の集約化による運転管理業務等の見直し ④ 一括発注の推進（工事等） ⑤ 汚泥貯留地管理業務の見直し ⑥ 広場管理人員の削減 ⑦ 運転日報等の電子化の検討 ⑧ 入札方法の見直し ⑨ 効率的な事務執行
(2) 施設・設備の老朽化対策	⑩ 施設・設備診断による計画的な施設管理 ⑪ スtockマネジメント計画への参画
(3) 大規模自然災害等への対応	⑫ 業務継続計画（BCP）の策定 ⑬ 緊急時の配備体制の充実 ⑭ 防災備蓄資器材の関係機関との共同化
(4) 環境に配慮した最適管理	⑮ 「二軸管理」の導入の検討 ⑯ アンモニアセンサー活用検討 ⑰ リサイクルの推進 ⑱ 臭気対策での取組
(5) 市町への技術支援体制の充実	⑲ 関連市町への技術支援 ⑳ 事業場の排水担当者への研修会の開催 ㉑ 県、市町職員との技術交流の充実 ㉒ 市町下水道担当職員研修会の開催 ㉓ 新たな技術支援の検討
(6) 地域・県民との連携等による普及啓発	㉔ 地域と連携した普及啓発活動の実施 ㉕ 水再生センター見学会の実施 ㉖ 下水道出張教室等の充実 ㉗ キャラクター等の活用 ㉘ 下水道の価値や魅力の向上
(7) 人材育成・技術の継承・技術の研鑽と活力ある職場づくり	㉙ 人材育成 ㉚ 技術継承 ㉛ 調査研究 ㉜ メンタルヘルスケア ㉝ ワークライフバランスの推進

## II 2019年度の取組み実施内容

2019年度に取組んだ分類ごとの主な実施内容は、次のとおりです。

### 〔取組み実施内容〕

<p>(1) 維持管理の効率化</p>	<p>これまで蓄積した技術力やノウハウ等を活かし、変圧器の電力損出の削減や機器の自動運転の最適化など、効率的な運転管理により処理費の抑制に取り組みました。また、汚泥貯留地や上部利用施設の管理業務の見直しなどに取り組みました。</p>
<p>(2) 施設・設備の老朽化対策</p>	<p>老朽化が進む施設・設備の診断等を実施し、修繕計画の見直しに取り組みました。また、県のストックマネジメント計画に技術的な提案を行いました。</p>
<p>(3) 大規模自然災害等への対応</p>	<p>自然災害などの突発的な事故に対して、迅速・確実に対応できる体制を整備するため、実践に即した震災訓練などを実施し、各種マニュアルの見直しを行いました。</p>
<p>(4) 環境に配慮した最適管理</p>	<p>良好な放流水質を確保しつつ、アンモニアセンサーを活用した運転管理の検討など創意工夫することにより、エネルギー消費を抑え環境に配慮した最適管理に取り組みました。また、焼却灰等の全量リサイクルや臭気対策に取り組み、環境への配慮に努めました。</p>
<p>(5) 市町への技術支援体制の充実</p>	<p>市町が行う流域関連公共下水道の特定事業場等監視・指導や施設検査などの技術支援を行いました。 また、県内市町下水道担当職員と事業場排水担当者の技術力向上を目指し、実務に即した研修会を開催しました。</p>
<p>(6) 地域・県民との連携等による普及啓発</p>	<p>県や流域関連市町と連携して、多くの環境イベント等に積極的に参加したほか、地元自治会主催の夏まつりにも参加し、下水道の普及啓発に取り組みました。</p>
<p>(7) 人材育成・技術の継承・技術の研鑽と活力ある職場づくり</p>	<p>計画的に職員を採用し、OJT等を通じた人材の育成に努めました。 また、フルハーネス型墜落制止用器具の使用に関する特別教育講習会を実施するなど職員のスキルアップに取り組みました。</p>

## 〔2019年度実績集計表〕

表中の番号は「第6期経営改善計画 5 具体的施策」で数値目標を定めた項目で、2019年度の実績集計は次のとおりです。

### ○経費縮減の数値目標に対する取組み結果

(1) 最適な維持管理							
項目	縮減額 (単位：千円)						
	年度 目標 実績 達成率	2019	2020	2021	2022	2023	計
① 電気設備の運用方法の最適化	目標	△340	△340	△340	△340	△340	△1,700
	実績	△340					△340
	達成率	100%					20%
② 運沈砂池の自動運転の最適化	目標	△160	△160	△160	△160	△160	△800
	実績	△160					△160
	達成率	100%					20%
③ 汚泥処理施設の集約化による運転管理業務等の見直し	目標	△3,830	△7,350	△7,350	△7,350	△7,200	△33,080
	実績	△3,360					△3,360
	達成率	88%					10%
④ 一括発注の推進 (工事等)	目標	△7,000	△7,000	△7,000	△7,000	△7,000	△35,000
	実績	△14,460					△14,460
	達成率	207%					41%
⑤ 脱汚泥貯留地管理業務の見直し	目標	△1,500	△1,500	△1,500	△1,500	△1,500	△7,500
	実績	△1,500					△1,500
	達成率	100%					20%
⑥ 広場管理人員の削減	目標	△1,400	△1,400	△1,400	△1,400	△1,400	△7,000
	実績	△1,500					△1,500
	達成率	107%					21%
縮減額 計	目標	△14,230	△17,750	△17,750	△17,750	△17,600	△85,080
	実績	△21,320					△21,320
	達成率	150%					25%

○経費縮減以外の数値目標に対する取組み結果

(2) 施設・設備の老朽化対策						
項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023
⑩ 施設・設備診断による計画的な施設管理	施設点検					
	目標	—	—	50%	100%	—
	実績	—				—
	設備診断					
	目標	25%	50%	75%	100%	
	実績	25%				

(3) 大規模自然災害等への対応						
項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023
⑬ 緊急時の配備体制の充実	震災訓練					
	目標	3回	3回	3回	3回	3回
	実績	2回				
	防災訓練					
	目標	2回	2回	2回	2回	2回
	実績	2回				
	水質異常初期対応訓練					
	目標	1回	1回	1回	1回	1回
	実績	1回				

(4) 環境に配慮した最適管理						
項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023
⑰ リサイクルの推進	焼却灰の有効活用					
	目標	100%	100%	100%	100%	100%
	実績	100%				

(5) 市町への技術支援体制の充実						
項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023
⑳ 事業場の排水担当者研修会	事業場研修					
	目標	—	1回目	2回目	3回目	—
	実績					
㉑ 市町下水道担当職員研修会の開催	市町研修					
	目標	4回	4回	4回	4回	4回
	実績	6回				

(6) 地域・県民との連携等による普及啓発							
項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	計
㉒ 地域と連携した普及啓発活動	夏祭り参加						
	目標	1回	1回	1回	1回	1回	5回
	実績	1回					1回
㉓ 水再生センター見学会の実施	見学会						
	目標	1回	1回	1回	1回	1回	5回
	実績	0回					0回



②⑥ 下水道出張教室等の拡充	下水道出張教室						
	目 標	23 回	23 回	23 回	24 回	24 回	117 回
	実 績	23 回					
	市町環境イベント						
	目 標	7 回	7 回	7 回	7 回	7 回	35 回
	実 績	15 回					15 回

### Ⅲ 計画の進行管理（PDCA サイクルによる見直し）

#### 1 進行管理

各項目の取組み結果については、PDCA サイクルによる継続的な見直しを行うこととしています。

計画の実施にあたっては、計画〔Plan〕に基づき実行〔Do〕し、取りまとめた結果について評価〔Check〕し、更なる改善〔Action〕に取組みました。

#### 2 評価〔Check〕及び改善〔Action〕

2019 年度の取組み結果に関する評価〔Check〕及び改善〔Action〕は、次のとおりです。

##### (1) 経費縮減に関する取組み

経費縮減に関する取組みについて、2019 年度は、6 項目のうち 5 項目で目標を達成し、経費縮減額の達成率は、目標を上回った項目があり 150%となりました。

なお、未達項目の評価及び改善内容は、次のとおりです。

取組み項目名	取組み内容	目 標	評 価 (未達理由)	改 善 (改善内容等)
		実 績 達成率		
③ 汚泥処理施設の集約化による運転管理業務等の見直し	四之宮水再生センターにおいて、汚泥処理施設の集約化に伴い運転管理業務等を見直すことで、経費の縮減を図ります。	△3,830 千円	7月に集約化を予定していましたが、一部の機器に不具合が発生し補修作業を行ったことにより、時期が9月に延伸されたことなどから、見込んでいた2か月分の電気料金の縮減が図れなかったため。	今年度集約化が完了したことから、来年度以降は計画通りの削減を図ります。
		△3,360 千円		
		88%		

## (2) 経費縮減以外の取組み

経費縮減以外には、施設・設備の老朽化対策、大規模自然災害等への対応、環境に配慮した最適管理、市町への技術支援体制の充実など、概ね計画通りに取組むことができました。

この取組みの中で、特に未達項目の評価及び改善内容は、次のとおりです。

取組み 項目名	取組み内容	目 標	評 価 (未達理由)	改 善 (改善内容等)
		実 績		
⑬ 緊急時の 配備体制の 充実(震災訓 練)	緊急時に備え、実 践に即した訓練を実 施し、訓練結果を踏 まえ各種マニュアル を見直します。	3回	11月に予定されてい た県主催の震災訓練が 台風19号等の影響によ り実施されなかったこ とに伴い回数が1回減 となったため。	公社が実施し た2回の訓練を踏 まえて、各種マニ ュアルの見直しを 行っており、目的 は達成されていま す。
		2回		
⑳ 水再生セ ンター見学 会の実施	各水再生センター において、見学者の 増加に向けた積極的 なPRや上部利用施 設等の利用促進に努 めます。四之宮水再 生センターにおいて は、桜の開花時期に 合わせた施設見学会 を開催し、下水道の 普及啓発に努めま す。	1回	四之宮水再生センタ ーにおいて、桜の開花時 期に合わせた施設見学 会を予定してしまし たが、新型コロナウイルス 感染症の感染拡大防止 を図るため、開催を中止 した。	今年度初めて 計画した施設見学 会は中止となりま したが、来年度の 開催に向けて取組 んでまいります。
		0回		

## 3 PDCAサイクルによる見直し結果(2019年度)

2019年度は第6期経営改善計画の初年度として概ね計画通りに取組むことができたことから、この取り組み状況を踏まえ、次年度についても、計画に基づく各項目の達成に向け取組んでまいります。